

主催：熊本学園大学附属社会福祉研究所  
平成30年度第1回研究会

# 近世寺院と被差別民

～高野山金剛峯寺を事例に～

◆講師◆

矢野 治世美 氏（熊本学園大学社会福祉学部准教授）

日時 平成30年 7月11日（水） 18：00～19：30

会場 熊本学園大学

14号館1階

1412教室

定員 100名

※ 参加費無料



弘法大師空海による開創以来の霊地・聖地として知られる高野山金剛峯寺は、江戸時代には約2万1千石の寺領を領有する近世領主でもあった。近年、新出史料の紹介によって、これまでほとんど知られることのなかった高野山寺領における被差別民の姿が明らかになりつつある。彼らはまた、参詣地としての高野山を支えた存在でもあった。

本研究会では、近世寺院と被差別民との関係に着目しつつ、その役割・生活について紹介する。

※お申込みは6月18日（月）から受け付けます。参加を希望される方は、FAXまたはEmailで必ず事前にお申込みください。

※お申込みの際は、ご氏名・ご所属・ご連絡先（電話番号）を明記ください。

※本学には来客用の駐車場がございません。公共の交通機関をご利用ください。

<申込み・問い合わせ先>

熊本学園大学附属社会福祉研究所（担当：学術文化課）

月～金 8：45～17：15  
（12：30～13：30を除く）

〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5-1  
電話：096-364-8731（直通）  
FAX：096-364-5201（専用）  
Email：shafuku@kumagaku.ac.jp